

新島八重の生涯と白河

〜白河がつなぐ故郷への想い〜



「洋装の新島八重」
(同志社社史資料センター蔵)

NHK大河ドラマ「八重の桜」にちなんで特別企画展が、白河集古苑で開催されます。激動の時代を生き抜いた新島八重の生涯を、実際の資料を通してご覧ください。

ふるさとわすれがたく
 おい老ぬれど又も越えなむ白川の
 関のとどしはよしかたくとも

(大意：老いてしまったけれども、もう一度白河の関を越えようと思う。たとえ関の戸が固く閉ざされていたとしても)

八重が故郷を想って詠んだ歌
 「同志社校友同窓会報第61号」より

新島八重・襄の関係資料が白河に

放送中の大河ドラマ「八重の桜」の主人公、新島八重は、戊辰戦争後、同志社を創設した新島襄の妻となって夫を支えました。生涯京都で暮らした八重でしたが、遺品に故郷会津の古写真があることから、ふるさとを想い続けていたことがわかります。

そして、故郷を歌った和歌には、白河の関が詠み込まれたものがあるほか、襄とともに会津に帰郷したときには、白河を通ったことが分かっています。つまり、白河は八重の故郷への想いをつなぐ地だったと言えるのではないのでしょうか。

今回、白河の地で、学校法人同志社にご協力をいただき、白河初公開のものも含め、新島八重と襄の資料を一堂に公開します。ぜひご来場ください。

開催期間

9/20 [金] ~ 11/4 [月]

※会期中無休

会場

白河集古苑 (郭内) TEL24-5050

時間

午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

※9/20は午前11時オープン

入館料

▷大人 310円 (250円)
※ () は20人以上の団体料金

▷小中学生・高校生 無料

企画文化財課 (歴史民俗資料館) TEL27-2310



八重と襄が通った戊辰戦争激戦地
明治末～大正時代の稲荷山写真
(白河市歴史民俗資料館蔵)



従軍看護婦の証
日清戦争従軍記章
(同志社社史資料センター蔵)



若い看護婦たちの指導者として
八重と篤志看護婦たちの集合写真
(同志社社史資料センター蔵)



八重の作品
手芸品
(同志社社史資料センター蔵)



写真から再現
新島八重所用ドレス (再現)
(福島県立博物館蔵)



襄を着取る八重
久保由米蓮筆 新島襄臨終図
(同志社社史資料センター蔵)



茶人としての八重
新島宗竹 (八重) 写真
(同志社社史資料センター蔵)



新島夫妻の生活がうかがえる品
ワッフルペーカー
(同志社社史資料センター蔵)

父長長三郎
 あらうに日女
 さしはるる月
 いまもあまの
 心

形神一途
 娘も行く
 玉の涙
 つなぐ
 月と斗
 の星

久保由米蓮筆

会津落城時に詠んだ和歌
新島八重筆和歌短冊「明日の夜は」
(同志社社史資料センター蔵)

■ご注意ください

9月21日(土)・22日(日)は、城山公園で「ご当地キャラこども夢フェスタin白河」が開催されるため、臨時駐車場からシャトルバスのご利用となります。詳しくは、3ページをご覧ください。

■会期中のイベント案内

Information

■展示解説会

- ◎日にち 9月20日(金)・23日(祝)、10月5日(土)・19日(日)、11月4日(月)
- ◎時間 ▷9月20日 午後3時から
▷それ以外の日 ①午前11時から ②午後2時30分から
※申込不要
- ◎解説者 ▷9月20日、10月5日・19日は同志社社史資料センター 小枝弘和氏
▷9月23日、11月4日は本市学芸員